

しょう 障がい者 しや ぎやく たい 虐待から

ま も 守りましょう!

し 知っていますか?

しょうがいしやぎやくたいぼうしほう 「障害者虐待防止法」



ぜつ たい 絶対にあってはならないしょうがい者への虐待

ぎやくたいしょうがいしやそんげんを おびやか し、じりつしやかいさんか自立や社会参加をさまたげます。ぎやくたいぜつたい絶対にあってはならないことですが、ぎやくたいきづかないまま起きているおそれもあります。しょうがいしやぎやくたい—

- 特定の人や家庭、場所ではなく、どこの家庭でも起こりうる問題です。
- 虐待している人に、虐待している認識がない場合があります。
- 虐待をされている人が虐待だと認識できないで、自分から被害を訴えられない場合があります。

そのため、虐待を防ぐためには、じゅうみんひとり住民一人ひとりがこの問題を認識して、ちいさなちようこう見逃さずにそうき早期に発見することが大切です。

■ 虐待に気づいたら すみやかに通報を

しょうがいしやぎやくたいに気づいた人には、しきうちょうそんたんとうまどぐち市区町村の担当窓口への通報義務があります。ちいきちいさなみちのちいさなみちの早めの対応や支援が、虐待されているしょうがいしやだけでなく、ぎやくたいしている家族などがかかえる問題の解決にもつながります。ご協力をお願いします。



そうだんつうほうまどぐち しぶししやくしよ ふくし か
相談通報窓口 志布志市役所 福祉課

TEL099-474-1111 (代)

しょうがいしゃぎゃくたいぼうしほう 障害者虐待防止法って どんな法律？

しょうがいしゃのあたりまえの生活を守る法律です

しょうがいしゃぎゃくたいぼうしほう（正式には「しょうがいしゃぎゃくたいぼうししょうがいしゃようごしゃに対する支援等に関する法律」）は、ぎゃくたいによってしょうがいしゃの権利や尊厳がおびやかされることを防ぐ法律です。しょうがいしゃの安定した生活や社会参加を助けるために、みんなでぎゃくたいぼうしとくみましょう。



たいしょうしょうがいしゃ 対象となる障害者とは

しょうがいしゃぎゃくたいぼうしほう（しょうがいしゃ）は、しんたいしょうがいちてきしょうがいせいしんしょうがいほつたつしょうがいふく（発達障害を含む）のある人や、そのほかにしんしんしょうがいしゃかいてきしょうへきにちじょうせいかつしゃかいせいかつこんなんえんじょが必要な人が対象となります。（18歳未満の人対象になります）

※しょうがいしゃてちょうしゅとくしていない場合も含まれます。

しゅるいしょうがいしゃぎゃくたい 3種類の障害者虐待

しょうがいしゃぎゃくたいぼうしほう（ぎゃくたい）は、いかにしゅるいわにわけています。

ようごしゃによる しょうがいしゃぎゃくたい しょうがいしゃ虐待

しょうがいしゃせいかつせわきんせんの管理などを行っている家族や親族、どうきよひとによるぎゃくたいのことです。



しょうがいしゃふくししせつせつじゅうじしゃ とうしょうしょうがいしゃぎゃくたい 等によるしょうがいしゃ虐待

しょうがいしゃふくししせつしょうがいふくしサービスの事業所で働いているしよくいんによるぎゃくたいのことです。



しょうししゃによる しょうがいしゃぎゃくたい しょうがいしゃ虐待

しょうがいしゃやとほたらしょうししゃによるぎゃくたいのことです。



つうほうとどでひとじょうほうまも 通報や届け出をした人の情報は守られます

ぎゃくたいつうほうひととどでひととくていじょうほうしんちょうとあつかしくちようせん虐待の通報をした人や届け出をした人を特定する情報は慎重に取り扱われ、市区町村のしよくいんにはしゅひぎむか課せられています。また、つうほうししゃしせつしよくいんによる場合、つうほうを理由に解雇などをするのは禁じられています。匿名によるつうほうでも、つうほうないようう付けてもらえます。

こんなことが虐待に ～障がい者虐待の例～

身体的虐待

障がい者の体に傷や痛みを負わせる暴行を加えること。
また正当な理由なく身動きがとれない状態にすること。



たとえば…

- 平手打ちにする ● 殴る ● 蹴る
- つねる ● 縛りつける ● 閉じ込める
- 不要な薬を飲ませる など

こんなサインが…

- 体に傷やあざ、火傷の跡がしばしばある。
- 急におびえたり、こわがったりする。
- 傷やあざなどの説明が変化する。 など

性的虐待

障がい者に無理やり（また同意と見せかけ）わいせつな
ことをしたり、させたりすること。



たとえば…

- 性交 ● 性器への接触 ● 裸にする
- キスをする ● 障がい者にわいせつな
話をする、映像を見せる など

こんなサインが…

- 肛門や性器などに出血や傷がみられる。
- ひと目を避け、部屋にひとりでいたがる。
- 人に相談するのをためらう。 など

心理的虐待

障がい者を侮辱したり拒絶したりするような言葉や態度
で、精神的な苦痛を与えること。



たとえば…

- 怒鳴る ● ののしる ● 悪口を言う
- 仲間に入れない ● 子どもあつかいす
る ● わざと無視する など

こんなサインが…

- おびえる、泣く、叫ぶなどパニックを起こす。
- 攻撃的な態度がみられる。
- 自分で自分を傷つける行為をする。 など

放棄・放任(ネグレクト)

食事や入浴、洗濯、排せつなどの世話や介助をほとんど
せず、障がい者の心身を衰弱させること。



たとえば…

- 十分な食事を与えない ● 不潔な住
環境で生活させる ● 必要な医療や福祉
サービスを受けさせない など

こんなサインが…

- 体から異臭がするなど衛生状態が悪い。
- ひどく空腹を訴え、栄養失調がみられる。
- 学校や職場などに出てこない。 など

経済的虐待

本人の同意なしに障がい者の財産や年金、賃金などを使
うこと。また障がい者に理由なく金銭を与えないこと。



たとえば…

- 年金や賃金を渡さない ● 勝手に財産
や預貯金を使う ● 日常生活に必要な金
銭を与えない など

こんなサインが…

- お金を使っている様子がみられない。
- 日常生活に必要な金銭を渡されていない。
- 生活費などの支払いができていない。 など

「虐待される人」「虐待してしまう人」 の両方を救うために

養護者への支援も大切です

障がい者虐待では、虐待をしている側の家族など養護者にも支援が必要な場合が少なくありません。介護疲れや障がいへの知識不足、家族間の人間関係、養護者自身の障がいなど要因はさまざまですが、虐待をしてしまう養護者を含む家族全体を地域ぐるみで支援することが根本的な虐待防止につながります。



養護者に対するサポート例



<負担を軽くする>

障がい者の短期入所など障害福祉のサービスの利用で、養護者の障害者介護の負担を減らし、冷静になれる時間や休息できる時間をつくる。

<知識や技術を増やす>

障がいに関する介護への知識や技術不足が虐待につながらないように、専門家の助言や指導によって、障がいへの正確な知識や情報などを提供する。

<心のケアをする>

カウンセリングの利用や家族会への参加などで、精神的に追い詰められた養護者の心をいやし、家族関係の回復にもつなげていく。

<専門的な支援をする>

病気や経済的問題など養護者自身が支援を必要としている場合は、それぞれに適切な対応を考えるために、専門機関からの支援を行う。

「志布志市障害者虐待防止センター」にご相談ください!

障がい者の虐待にかかわる通報や届け出、支援などの相談は、志布志市障害者虐待防止センターまでお寄せください。障がい者の虐待をなくすために、あなたのご協力をお願いいたします。



相談通報窓口 (再掲)

志布志市役所 福祉課 (志布志市障害者虐待防止センター)

TEL099-474-1111 (代) FAX099-474-2281

所在地 〒899-7492 志布志市有明町野井倉1756番地

このリーフレットは、厚生労働省「市町村・都道府県における障害者虐待の防止と対応」をもとに作成しました。

UD FONT
by MORISAWA

ユニバーサルデザイン (UD) の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。